

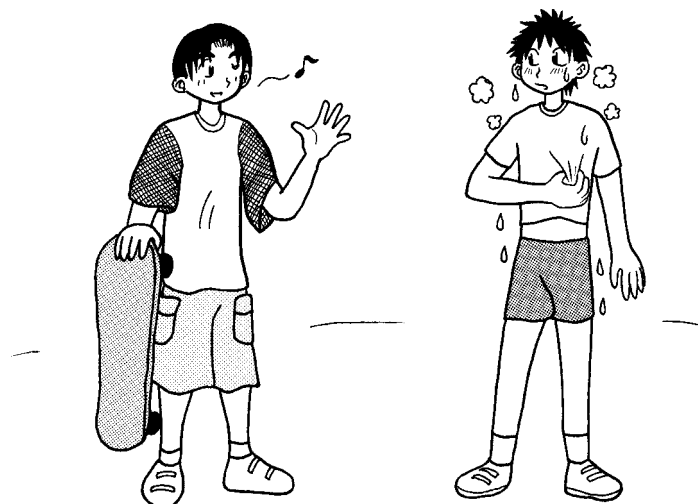
# 素材布の通気性、衣服の開口部とゆとりが 衣服換気に及ぼす影響：身体部位差に着目 して

研究代表者 大阪信愛女学院短期大学 上田 博之

衣服内の換気は衣料に要求される機能の最重要なものの一つである温熱的機能性に直接影響します。換気は素材布の通気性、および、材料の開口部からの換気、すなわち、温められた空気が上昇して流出する煙突効果と人の動作に伴い生じるふいご効果、によることが知られています。

本研究ではそれら3種類の換気のようにすが身体の部位によってどのように変わるのかを布の通気性、衣服サイズ、身体の動き、及び、衣服の開口部のゆとりを違った衣料を製作して検討しました。

開口部から遠い背や上腕、大腿などでは布の通気性が換気に影響をあたえました。腕、前腕、下腿などでは開口部から出入りする空気量が多く、煙突効果やふいご効果により影響が大きくなりました。これらの結果から、衣料の温熱的機能性の効果的な設計には、通気性や開口部やゆとり量を体の部位に対応して考慮することが必要であることがわかりました。



衣料の温熱的機能性の効果的な設計には、通気性や開口度やゆとり量を身体の部位に対応して考慮することが必要だ

